

第四十一回
帝國議會
貴族院
裁判所ノ設立ニ關スル法律案外二件特別委員會會議事速記録第一號

(四一)

付託議案

不動產登記法中改正法律案
大正二年法律第九號中改正法律案

委員氏名

委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 加太 邦憲君

子爵勘解由小路資承君
子爵板倉 勝憲君
男爵中川 興長君
男爵河村 讓三郎君
男爵坂本 俊篤君
男爵若王子 文健君
野々村 久次郎君

大正八年二月二十日(本曜日)午後一時三十分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ是カラ會議ヲ開キマス、初メニチヨト御斷リ致シマスガ、裁判所ノ設立ニ關スル法律案、大正二年法律第九號中改正法律案及不動產登記法中改正法律案、此三法律案ヲ便宜上一括致シマシテ、先ツ政府委員ノ御説明ヲ願フテ、漸次御質問ニ移ッテハ如何デゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 本案呈出ノ理由ハ、先日本會議ニ於キマシテ申上デマシタ通りデゴザイマシテ、御承知ノ通り大正二年ノ行政整理ノ際、區裁判所ヲ廢止イタシマシテヨリ以來、昨年マデニ一回、之ト同一種類ノ法案ヲ提出シテ御協賛ヲ得マシテ、區裁判所ノ復活ヲ致シマシタルモノガ六十四箇所アルノデゴザイマス、其後財政ノ狀態ニ鑑ミマシテ、人民ノ便利ヲ全ウセシムル必要カラ致シマシテ、今回三十一箇所ノ設立ヲ提案イタシマシタ次第デゴザイマス、ソコデ今日ノ狀態デ申シマスレバ、先ヅ是ダケノモノヲ復活シテ置キマシタラバ不便モ防グコトガ出來ヤウカト云フ考デゴザイマス、併ナガラ尙ホ事情ノ變化ニ依リマシテハ、更ニ新設復活スルト云フヤウナコトモ生ジマセウガ、唯今當局ノ考ト致シマシテハ、先ヅ此位ノモノヲ以テ足レリトスルモノデアラウカト云フ考デアアルノデゴザイマス、ソレカラ最後ノ不動產改正ノ案ハ、斯クノ如ク幾多ノ區裁判所ヲ復活イタシマスル結果、大變近距離ノ區裁判所ガ出來マスルカラ、大變便利ヲ得ル次第デアリマスルガ、一面カラ不動産登記

ノコトニ至リマスルト云フト、却テ出張所ニ遠ザカルト云フヤウナ場所ガ、全國通ジマシテ十有數箇所見ル次第デゴザイマスルカラ、其不便ノ生ジマスル箇所ノ登記事務ト云フモノハ、隣接ノ他ノ出張所ニ委任シテ取扱ハシムルト云フ便法ヲ設ケマスル爲ニ、本案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマシテ、此種類ノ法律ハ既ニ非訟事件手續法ノ商業登記ニ付キマシテ、矢張り之ト同ジヤウナ規定ガアリマスルカラ、ソレニ則リマシテ此不動産登記法ニ一箇條ヲ加ヘルト云フ案ヲ提案イタシマシタ次第デゴザイマス

○政府委員(山内確三郎君) 是ハ其裁判所ノ設立ヲシマスニ付テ、其ノ管轄所ノ變更ヲスルト云フコトニナリマシタ所ガ、例ヘテ申シマス、或ハ竹原ノ裁判所、或ハ昨年ノ關係デ見マス、丁度岩國ノ裁判所ノ關係、交通ガ非常ニ不便ナリナ所ノ町村ガ、例ヘバ五ツナラ五ツ、一ツノ登記所ノ中ニアル、所ガ區裁判所ノ管轄ヲ定メマスニ付テ、ドウシテモ裁判所トノ交通ノ便利上、其五ツノ町村ヲ割イテ、例ヘバ一ツダケハ甲ノ區裁判所ニ附ク、其他ノ四ツノ町村ハ乙ノ區裁判所ニ附クノガ交通上最モ便利デアアル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、所ガ登記所ノ方ニナリマス、今迄ノ五箇町村デ一ツノ登記所ヲ持ッテ居ッタノガ、今度裁判所ガ分レルト云フト、今迄ノ登記所ニ登記ノ申請ヲスルコトハ、一ツノ分レタ町村ハ出來ナイ、裁判所ノ管轄ガ元トデ、其管轄區域ニミ今日ノ法律デハ出張所ガアルノデスカラ、ソレハ裁判所ノ關係カラハ一ツノ町村ハ他ノ區裁判所ニ持ッテ行クノガ便利デスケレドモ、登記ノコトニナルト、元トノ出張所ノ方ニ行キタイト云フノガアル、尙全國ノ裁判所ニ斯ウ云フノガアリハシナイカト云フテ調ベテ見ルト大分アル、裁判所ノ管轄ハ普通ノ裁判所ニ附キタイガ出張所ハ他ノ裁判所ノ出張所ノ方ニ行ッテ登記ヲシタイト云フヤウナ町ガ澤山アルモノデアリマスカラ、ソレデ裁判所ノ管轄ト離レテ、特ニ之ヲ隣ノ裁判所ノ出張所ニ委任スル、サウシテ登記ノ便利ヲ收メタイ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス

○加太邦憲君 サウシマスル、其法律ハ一時ノモノデナクテ、暫ク續クコトニナルノデアリマス、暫ク續クトスレバ管轄ヲ變ヘテ仕舞デヤッタ方ガ都合ガ好クナリハシマセヌカ、

○政府委員(山内確三郎君) 裁判所ノ管轄ハ、此處ノ本ニナル區裁判所ノ管轄、是ハ法律デ定メテ居リマス、ソコデ登記所ノ管轄ヲ定メルノハ、其管轄裁判所ノ出張所デアリマスカラ、出張所ハ矢張り裁判所ノ管轄内デ管轄ヲ持ッテナレバナラヌト云フコトニ法律デ極デ居リマス、ソレデアリマスカラ、出張所ノ管轄ヲ他ノ裁判所ノ地域ノ管轄セシメルト云フコトハ、チヨト區裁判所ノ精神ニ付テモ、管轄ハ矢張り裁判所ノ管轄ト出張所ノ管轄ハ、地域ニ於テ便利ノ所ニ登記事務ヲ委任スルト云フコトニシナイト、登記ノ管轄ダケヲ動かスト云フコトハ出來ヌシ、登記ノ管轄ヲ動かスト云フコトニナルト裁判所ノ管轄ヲ動かサナレバナラヌ、ソレハ裁判所ニ於テハ交通上不便デアルト云フコトニナリマスカラ、裁判所ノ管轄ハ已ムヲ得ズ、裁判所ノ管轄ヲ委任ヲ受ケテ取扱ウ、是ハ交通狀態ガ變ラヌ限リニ於テハ、先ヅ此委任關係ハ續カナレバナラヌモノト考ヘテ居リマス

○加太邦憲君 ソレカラ今度裁判所ノ復活シマスニ付キマシテ、復活ト云フコトカラ云ヘバ、マア佐野デ復活ニナリサウナ所ガ、足利ノ方ニ新設サレル、斯ウナリマシテ、其事ニ付テハ大變安蘇、足利兩郡カラソレノ種ノ陳情書ナドヲ拵ヘテ吾々ノ手許ニ差出シテ居ルモノガアリマスガ、チヨルト其佐野ニ復活サレバシテ、足利ノ方ニ新設サレタト云フコトニ付テ司法省ノ御取調ベノ模様ヲ一應御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 此在來佐野區裁判所ノ管轄區域ハ、足利郡ト安蘇郡ノ二郡ヲ管轄シテ居ッタノデアリマス、デ行政整理ノ結果此二郡ハ今日ニ於キマシテハ栃木區裁判所ニ屬シテ居リマス、ソコデ足利ノ隣ニナッテ居リマス足利ト云フモノハ、今日ノ狀態デ申シマスルト云フト、日光ニ出マシテ、ソレカラ宇都宮ニ來ル、斯ウ云フ廻リ諍イ路ヲ通ッテ、遠ク走ッテ宇都宮區裁判所ノ管轄ニナッテ居ルノコデ足利ト云フモノハ今日ノ如ク發展ヲ致シテ居リマシテ、人口モ澤山アリマスルシ、而シテア、云フ所デゴザイマシテ、民事ニ、刑事ニ、事故ハ澤山發生シテ居ルノデアリマス、ドウシテモ此足利ト云フモノヲ宇都宮區裁判所カラ割イテ、此足利、安蘇ヲ管轄シテ居リマシタ所ノ區域内ニ合一セシムル必要ガアルノデアリマス、即チ從來佐野區裁判所ノ管轄區域ニナッテ居リマシタ其足利、安蘇兩郡ノ外ニ、都賀郡ノ足尾ト云フモノヲ合併シテ、一區裁判所ノ管轄區域トス

ルト云フコトが至當ノコトデアラウト思ヒマス、倍テ斯ノ如キ理由ニ依テ足尾ト云フモノヲ足利、安蘇ノ管轄區域内ニ入レマスト致シマスレバデス、ドウシテモ地理上ノ中心ナル町村民ノ便否ト云フコトヲ考ヘマスト云フト、此足利ニ裁判所ヲ置クト云フコトヲ以テ適當ナル位置ト考ヘルノデアリマス、佐野ニ置キマスルト云フト、少シ偏在スルコトナリマス、而シテ此佐野町ト足利町トヲ總テノ點カラ考慮致シマスルト云フト、ドウシテモ人口ニ、富ニ、取引關係ニ、租税ノ關係ニ、事件ノ關係ニ於テドウシテモ、此佐野ヨリハ足利ニ置クト云フコトが適當デアルト考ヘルノデアリマス、ソコデ斯ウ云フ問題が起リマス、安蘇ニ置ケハ、此安蘇郡ノ中デ佐野ニ置キマスレバ日歸リデ裁判所ノ用務ヲ達シテ歸ルコトが出来ルガ、足利ニ置クト二日ヲ要スル、斯ウ云フ不便ノ場所ヲ生ズル、ソレ故ニ足利ニ置クベキモノニアラズ、シテ、在來ノ如ク佐野ニ置クト以テ適當ナリトスルト云フ議論ガアルノデゴザイマスガ、ソレハ同ジコトデアリ、若シ足利ニ置カズシテ佐野ニ置キマスルトスルト云フト、足利郡中ニ又サウ云フヤウナ同一ノ關係ヲ生ズル町村三四見ルノデアリマス、即チ足利郡ノ二三ノ村ハ足利ニ裁判所が出来レバ日歸リデ済ム、佐野ニ行ケバ日歸リニ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ事柄ハレタラニ置イテモサウ云フ村ハ二三ハ生ズルノデアリマス、ソレデ大體カラ申シマスレバ、ドウシモ多クノ人民ハ佐野ヨリハ足利ニ至ルヲ以テ便利トスルモノが多キヲ占ムル斯ウ云フヤウナ關係カラ致シマシテ、佐野ニ復活致シマセズ、足利ニ置クト云フコトニ定メマシタ次第デゴザイマス

○加太邦憲君 北海道ニ二箇所新設ニナリマスナ、一ツハ岩見澤、一ツハ名寄、チヨット私ハ地圖ヲ開イテ見ルナニガゴザイマセシタガ、名寄ト云フ所ハナンドゴザイマスガ、旭川カラ稚内線ニ行ク眞中頃、即チ網走カラ西ノ方ニ連絡スル所ノ名寄ト云フ所ガアタト思ヒマスガ、アレデゴザイマス

○政府委員(豊島直通君) 此名寄ト申シマスル所ハ旭川ヨリ北見上川郡ノ縁ニナッテ居リマス

○加太邦憲君 岩見澤ト云フ所ハ元トアツキヤウニチヨット考ヘマスガ、全ク是ハ新設デアリマスガ、ソレカラ又此名寄ト云フモノハ、是等ハ全ク新設デアリマセウガ、ドウ云フ土地ノ狀況カ、少シ其裁判所ヲ置ク必要ノ起リタ理由ヲ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(豊島直通君) 岩見澤ト申シマスル所ハ札幌カラサウ隔テ居リマセケレドモ、此附近ニ嶺山ガゴザイマシテ、ソレカラ嶺物が皆岩見澤ニ多ク集マリマスノデゴザイマス、尙ホ近頃大變嶺區ト云フモノガ餘ホ此邊ニ開發サレマシテ、坑夫モ大變多ク此邊ニ入込シテ來マスシ、又ソレ

ニ附加ヘテ種々ナル仕事ガ此邊ニ餘計ニナッテ來マシタ、隨テ事件ノ件數ガ一ツノ區裁判所ヲ設ケルダケニナッテ居テ唯今ノ所ハ總テノ事業等ガ發達シテ居ルト云フコトニ認メラレマスノデゴザイマス、ソレカラ又此名寄ト申シマスル所ハ、丁度北見ノ方カラ此所ニ物資ガ出テ參リマス、殊ニ北見ノ方ノ紋別カラシテ鐵道ガ名寄ニ貫通イタシマスコトナリマス時ニハ、益、此名寄ト云フ所ガ物資ノ集マル所ニナリマスノデ、既ニ今日ノ狀勢ニ於テモ物資ノ集合地デアルノミナラス、將來一層物資ガ集合スルノデアリマス、サウ云フ次第デアリマス、事件ノ件數ニ於テモ、既ニ此邊ニハ一ツノ區裁判所ヲ設ケベキ程度ニナッテ居ルモノト承知シテ居リマス、由來北海道ハ此裁判所ノ設備ニ付テハ甚ダ遅レテ居リマシテ、先年漸ク一箇所、地方裁判所ノ新設ヲ見タ譯デゴザイマス、區裁判所ニ於テハ從來新設スル必要モゴザイマシタケレドモ、其儘ニナッテ居リマシタ、此度漸ク此二箇所ノ裁判所ヲ新設スルコトヲ得ルコトニ至リマシタ、既ニ是等ハ數年前ヨリ其必要ハ生ジテ居ルノデゴザイマシテ、今日ハ其必要ヲ急イデ充タスト云フ狀態ニナッテ居ルノデゴザイマス、サウ云フ狀況デ、此二箇所ノ新設ト云フモノガ必要ト考ヘマシタ次第デゴザイマス

○加太邦憲君 此事件ハ、岩見澤アタリハ無論繁華ノ場所デゴザイマセウト思ヒマスガ、名寄ナドハドノ位、今ノ所ゴザイマス

○政府委員(山内確三郎君) 大正四、五、六、七年、九、七、八、八、月マデノコトデゴザイマスガ、ソレデ現在起テ居リマス事件ニ付テ一々調べタ其結果ヲ先ヅ平均シテ見ルト、岩見澤ノ方デハ民事ノ訴訟ガ百七十四、刑事ガ五百十一名寄ノ方デ、民事ガ百八十、刑事ガ三百六十一デゴザイマス

○加太邦憲君 今度北海道ニ二ツ置カレマシタ外ノ場所ハ、是ガ新設ニナリマス、大正二年ニ廢サレマシタ裁判所ガ全部復活ニナリマスノデゴザイマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 大正二年ノ法律上ニ廢止サレマシタノガ、其數百二十八ト記憶イタシテ居リマス、今回復活イタシマシタモノト、新設ヲ加ヘマシテ九十五箇所、百二十八箇所ノ中當時開應シテ居リマセナカッタ裁判所ノ數ガ三十三箇所ト思ヒマス、差引九十五箇所開應シテ居タモノノ廢止シタト云フコトニナリマス、即チ數ニ於キマシテハ前年開應シテ居タ所ヲ廢止シタ數ト、今回新設復活ヲ致シマスル數ト共ニ九十五箇所ニナッテ居リマス、併ナガラ實際内容カラ申シマスルト云フト、大正二年ニ開應シテ居ラナカッタ場所ヲ復活シタ所モゴザイマス、大正二年ニ開應シテ居タ所ヲ復活シナイ所モゴザイマス、例ヘバ東京府下ニ

於ケル伊豆七島ノ如キモノハ、當時開應シテ居リマシタモノデアリマスガ、今回ニ於テハ未ダ復活スル必要ヲ認メナイ、斯ウ云フヤウナ所ハ矢張り出張裁判所ニ致シマシテ、年ニ三四回、四回トカ定期ニ出張サセマシテ裁判ヲサセルト云フトニシテ居ルノデゴザイマス

○加太邦憲君 サウスルト未開應デアッテ、サウシテ今度新設ニナリマシタ所ハ、ドウシテデゴザイマセウカ

○政府委員(山内確三郎君) 一々ニ付テ申シマシタラ、先ヅ沼津區裁判所ニ合併シテ居リマシタ三島裁判所、是ガ未開應ノ分デ今度復活シタ、ソレカラ甲府ノ管内デ鮎澤ト云フノガ一ツ、ソレカラ名古屋ノ管内デ豊橋區裁判所ニ合併シタモノデ新設區裁判所、ソレカラ富山ノ地方裁判所ノ管内デ杉ノ木新設區裁判所、此案デハ出町區裁判所、山口地方裁判所管内デ船木區裁判所、松山地方裁判所ノ管内デ八幡濱區裁判所、熊本地方裁判所ノ管内デ三角區裁判所ノレダケデス

○加太邦憲君 此新設ニナリマス裁判所ハ皆一ツノ區裁判所ヲ置クダケノ相當ノ件數ガアルノデアリマセウナ

○政府委員(山内確三郎君) 久シク未開應ニアッテ段々事情ガ變更シタ結果、斯ウ云フ所ハ非常ニ盛ンナ所ニナッテ、事件ハ今度復活シタ方ニ於テモ先ヅ多イノデアリマス

○男爵坂本俊篤君 今回復活サレマシタ所ノ區裁判所デ、此佐野足利ノ町ノ例ノヤウニ、單純ニ元ノ場所ニ復活サレマセズシテ、隣接ノ町ニ復活サレタト云フヤウナ例ハ他ニゴザイマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) アリマセ

○男爵坂本俊篤君 尙ホ伺ヒマスガ、此足利町ニ復活サレルト云フコトハ安蘇郡ノ一部ニ取シテ交通上非常ニ迷惑ヲ感ズル町村ガアルト云フコトデゴザイマスガ、唯今ノ御説明ニ依リマスルト、足利佐野町ニ復活スレバ足利郡ニモ同様ノ不便ヲ感ズル所ガアルト云フ御話デゴザイマシタガ、茲ニゴザイマスル嘆願書ニ付テ見マスルト、足利町ニ復活サレタ場合ニハ安蘇郡ニ於テハ三位掛カラナッテ訴訟ノ用ヲ辨ズルコトが出来ナイ不便ナ所ガアル、ソレハ足利町ニ復活シテ僅ニ一日位ノ不便アルト云フヤウニゴザイマスルガ、政府ハ斯様ナ點ヲ御認メニナツタノデゴザイマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 安蘇郡デ新合村ト飛駒村、氷室村、野上村、此四箇村ハ最寄ノ停車場マデ出ルニ二三里アルカラシテ、足利町ニ往復スルノニハ二日位ヲ要スルト云フコトガアルケレドモ、其他ノ町村ニ於テハ日歸リガ出來ルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ足利郡ノ町村デ申シマスルト、北郷、三和村、菱村、此三箇村ガ矢張り停

三、家庭暴力：指家庭成员之间以殴打、捆绑、残害、限制人身自由以及经常性谩骂、恐吓等方式实施的身体、精神等侵害行为。

和田一休聖田々々ノ關係ヲアルナラハ何力カシ見テモ十九

マスルト、佐野が三万九千圓アル所へ持て行つて、足利町ハ

マスルト、佐野が三万九千圓アル所へ持ッテ行ッテ、足利町ハ

マスルト、佐野が三万九千圓アル所へ持ッテ行ッテ、足利町ハ

九万二千圓、足尾町ハ九万七百圓、斯ウ云フ直接國稅ニ於キマシテモ差違アルノゴザイマス、又町ノ人口デ申シマスレバ、佐野町デ一万五千ニ對シテ足利ハ三万四千、足尾ハ三万七千、斯ウ云フ人口ノ差ガゴザイマス、又戸數ノ差デ申シマスレバ、佐野ガ二千七百アルノニ足利ハ五千五百、足尾ハ七千六百、斯ウ云フ數字ヲ示シテ居リマス

○男爵坂本俊篤君 此兩所ノ内何レニ敷設セベキカト云フ點ニ付キマシテ尙考慮イタスベキ點ハ、此裁判所ノ敷地又ハ家屋ト云フヤウナ點ハ如何ニナテ居リマセウカ、單純ニ佐野ニ復活ストスレバ、佐野ニハ從來ノ物ガアルカト考ヘマスガ、又足利ノ方ニナレバ夫ヲ新設スルコトナリマセウカ、經費上ノ考慮ハ、此點ニ於テ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 佐野町ニハ御承知ノ通り舊廳舍ガゴザイマシテ、唯今登記事務ヲ取扱テ居リマス、併ナガラ最早朽廢シテ居リマシテ、佐野町ニ區裁判所ヲ復活スレバ、矢張り改築センケレバナリマセヌ、其費用ハ新築ト敢テ擇ブ處ハ無イ

○加太邦憲君 私ハ一ツ餘リ直接ノ問題デハゴザイマセヌガ、序デゴザイマスカラ伺テ置キタウゴザイマスガ、此司法官ノ待遇ニ付キマシテ、待遇ト云フノハ今申シマスノハ増俸ノコトヲ言フノデアリマスガ、司法官ノ増俸ノ内、檢事ニ厚クシテ判事ニ薄イ、サウ云フ事ハモウハ數十年前カラ物議モアリ、且私ナドハ實際モサウ承知シテ居ルノデアリマスガ、殊ニ書記ナドニ付キマシテハ、判事側ノ書記ト檢事側ノ書記ト餘程人數ノ數モ違ヒマシテ檢事側ノ書記ハ或ハ五分ノ一カ少數デアリマス、夫デアリマスカラ増俸スルヤウナ時ニ方リマシテ、金額カラ割テ見マスルト、判事側ノ書記ガ二人増俸ガ出來ル所ヘ檢事側ノ書記ハ一人シカ出來ナイ、然ルドコロデハナイ、或ハ判事側ノ五人昇セル割合ニナル所モ、檢事側ハ一人モ昇サレナイ、斯ウ云フコトガ生ジテ來マシテ、夫デ檢事側ノ方ノ書記ニ向テハ甚ダ氣ノ毒ナ情カラ、裁判所デハ判事側ノ方ノ俸給額ヲ以テ檢事側ノ方ニ幾ラカ殖シテアル、斯ウ云フヤウナコトデ檢事側ノ書記ガ幾ラカ得ラレテ居ルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ヌ事情デアアルコトデアリマシタガ、今伺ヒマスノハ判事ト檢事ト間デ、是モ丁度夫ト能ク似タ事情ガアリマシテ、ドウモ檢事側ノ方ガ厚クシタヤウナ關係ラシイ、其苦情ハ是ハ長イ苦情デアリマス、一體今日、近イ近年ノ事情ドウ云フ譯ニナッテ居リマセウカ、何段モ數年間ニ違テ行クノ、判事ノ方ガ不利益ガアッタト云フコトモ、是ハ少シク誇大ナ言方デアラウト思ヒマスガ、實ハドウ云フ模様デアリマスカ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 唯今加太サシノ御尋ノ、判事ニ薄ク檢事ニ厚キト云フ聲ノアリマスコトハ、加太サシノ

仰セノ通りモウ十數年前カラノ事柄デゴザイマシテ、サウ云フコトガ自分等ニ於テハ、誠ニ世間ニサウウウコトガ傳ハルコトヲ遺憾トシテ居ルノデアリマス、ガ自分モ曾テ裁判所ニ居リマシテ其消息ハ能ク承知シテ居ルノデアリマスガ、今日取扱テ居リマス實況ヲ御話申上ゲタナラバ、其御疑團モ御解ケニナラウカト思フ、抽象的ニ申シマスレバ決シテ判事ニ薄クシテ檢事ニ厚キト云フヤウナ不公平ナ處置ハ万々執ッテ居リマセヌデアリマス、加太サシモ御承知ノ通り、從來司法省ノ執ッテ居リマスル進級ト云フモノハ、謂ハユル益暮二期ニ分チマシテ、七月、十二月ニ一般昇給ヲ計ッテ居リマス、臨時ニ他所ニ轉補スルトカ、或ハ轉官ヲスルトカニ云フヤウナ折ニ於テ進級ヲ致スコトモアリマスガ、概シテ一般進級ヲサセテ居ルノハ二期ニ分チテ居リマス、其二期ニ分チテ居リマスノガ能力ヲ鑑別シマシテ、矢張り同一能力アル者トシマスルト、同一列ニ上ゲテ居ルノデアリマス、所謂判事ニシテモ優秀ナル者ハ拔擢シテ居リマスルシ、檢事ニシテモ優秀ナル者ハ拔擢シテ居リマス、其點ニ於テハ少シモ標準ニ等差ヲ設ケテ居ル次第デハナイノデアリマス、唯、茲ニ或ルモノハ觀察ニ依ッテハ、檢事側ガ餘計上ガシテ、判事側ハ進級者ガ少ナイト云フコトヲ申スノデアリマスガ、是ハ或ル點マデハ是非ナイト、私ハ考ヘル、何故カト申シマスルト、御承知ノ通り監督官級ニアル者、ソレカラシテ又其以下ニ致シマシタ所ガ、所謂樞要ナル地位ニアル者、サウ云フモノ、數ハ判事モ檢事モ同數デアアル、例ヘバ所長ニシマシテモ、檢事正ニシマシテモ同數デアリマス、サウシテ又檢事局ノ上席檢事或ハ次席檢事ト云フモノト部長ト匹敵スル、其數等モ略、同一デアリマス、即チ裁判所ニ至リマスレバ部長三四人アル所モアリマスガ、先ヅ多クハ其樞要ノ位置ニ就クベキモノハ檢事ト判事ト同數デアリマス、斯ウ云フ同數デアリニモ拘ハラズ、判事ノ方ハ合議制度デアリマスカラ、平判事ト云フモノハ大變數ガ多イ、其結果人員ノ増員カラ申シマスルト云フト、判事ノ方ハ勅奏任合セマシテ千二百人バカリノ數ヲ有ッテ居ルニ對シテ、檢事ノ方ハ僅カ四百五十六人ト云フ、斯ウ云フコトニナル、ソレデアリマスカラ判事ト檢事トノ數ト云フモノハ半數以上ニ之ヲ見テ居ル、半數以上ノ差ガアル所ヘ以テ來テ、斯ウ云フ樞要ナル位置ニ就クベキモノハ同數デアアル、斯ウ云フコトニナリマスカラ、ドウシテモ檢事ノ方ガ幾分カ早ク昇テ行ク、斯ウ云フヤウナ結果ヲ見ル所モアリマスル、アリマスルケレドモ同位置ニ立ッテ同能力ヲ有ッテ居ルモノト見ルベキ場合ニ於テ、判事ニ薄ク檢事ニ厚イト云フコトハ決シテナイ譯デアリマス、然モ近年ニ於キマシテハ檢事カラ判事ニ轉官サセ、判事カラ檢事ニ轉官サシテ居ル、斯ウ云フコトニモシテ居ルノデアリマスカラシテ、決シ

テ檢事ノ方ハ毎年上ガルガ判事ノ方ハ二三年經タナケレバ上ガラナイ、二三段モ其間ニ懸隔ガ生ズルト云フヤウナコトハアリマセヌ、一々ノ人間ニ互リマシテモサウ云フコトハナイ次第デアリマス、而シテ書記ノ御話モゴザイマシタガ、成程三年バカリ前迄ハ、御互ニ所長、檢事正等ノ間ニ於キマシテ自分ノ配下ノ方ヲ上ゲルトスレバ、片一方ノ配下ハ上ガラヌ、同時ニ兩方上ゲル譯ニハイカスト云フヤウナコトデ種種ノ苦情モアリ、處理上困難ヲ生ジタト云フコトモアリマシタガ、三年前カラ致シマシテ、檢事局ノ書記ト裁判所ノ書記ト俸給ヲ全ク分制シマシテ、所長檢事正ハ獨立ニサシテ居ルコトニナリマシタカラ、是モ其様ナ不公平ナコトハナイノデアリマス、之ヲ實際ニ徴シマスルト、今日ニ於キマシテハ或裁判所ニ於キマシテハ、檢事局ヨリ書記ノ進級ガ早イ、檢事局ノ書記ノ進級ガ遅イ、裁判所側ノ書記ノ進級ガ多イ、或ハ年末ニ於テモ、檢事局ノ側ノモノハ少ナクテ、裁判所ノ側ガ多イト云フコトモアル、又其反對ノコトモアリマス、ソレハ各々監督官ノ財政整理ノ如何ニ依ッテ斯ウ云フ差異が生ジテ參リマスレドモガ、決シテ檢事局側ノ方バカリ厚イト云フコトハ全然アリマセヌカラ、其點ハドウゾ御安心ヲ願ヒタイ

○男爵若王子文健君 唯今御尋ニナリマシタ廳舍ノコトデアリマスガ、其廳舍ガ廢朽ニナリマシテ新築シナケレバナラヌモノデアアル、之ニ對シテハ變リハナイト云フコトデアリマシタガ、敷地ト云フモノハ如何デアリマスガ、矢張り足利ニ設ケルト云フコトニナレバ、敷地ハドウ云フコトニナリマスガ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 足利町ノ方ニハ裁判所所ノ敷地ハアリマセヌカラ、ソレハ無論求メナケレバナラヌノデアリマスガ、足利町ニ於テ其所要敷地ハ寄附スルト云フコトデアリマス

○男爵若王子文健君 寄附デスカ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 左様デゴザイマス

○委員長(伯爵堀田正恆君) 御質問ゴザイマセヌカ、御質問ハゴザイマセヌヤウデアリマスカラ、御議論ガゴザイマスレバ、コザイマセヌヤウデアリマスカラ決ヲ採リマス、裁判所ノ設立案ニ關スル法律案及大正二年法律第九號中改正法律案、之ヲ一括シマシテ、此原案通りデ如何デゴザイマス

○加太邦憲君 私ハ賛成デゴザイマスガ、チヨット一言分リ切ッテコトデアリマスガ、其理由ヲ申述ベテ置キタイト思ヒマス、大正二年ニ裁判所ガ廢止ニナリマスル時ニ、貴族院ノ審議ニ於キマシテハ大不賛成デ、殆ド或會ニ於キマシテハ、一旦否決ノ決議マデシカ、ツタ位デアリマシタケレドモ、時ノ政府ノ事情、行政財政ノ整理ガ多年ニ互ッテ絡ランデ居リ

マシタノヲ、之ヲ政府ガ斯ウ云フ大問題ノ爲ニ、裁判所ト云フ普通ノ行政官以外ノモノマデニ互フテ金ヲ蹴出サヌデハナラヌ、殆ド裁判所ノ案ガ否決サレハ、其結果行政財政ノ整理ハ頓挫スル。全部頓挫シナクテモ半分位シカ出来ナイト云フ結果ニナテ来ルカラ、之ガ全部ノ頓挫ヲ来ス、斯ウ云フ有様ニナリマシテ裁判所ヲ廢シテ五十萬圓ノ金ヲ蹴出スカ蹴出サヌカト云フ大事件ニナテ、行政整理ガ出来ルカ出来ヌカト云フ大問題ニナテ来マシタノデ、ソレデ時ノ司法大臣松田君等ハ、殆ド困却ノ態デ、其事情ノ説明モアリマシテ、遂ニ貴族院モ大ニ讓歩イタシマシテ、サウシテ其時ニ委員會ニ於キマシテモ亦本會議ニ於キマシテモ、近キ將來ニ於テ復活ヲ希望スル、殊ニ事件ガ増シタリ、交通ガ不便ニナリシタヤウナ所ハ翌年カラデモ復活ヲ希望スル、ソレニ就テハ其時ノ議會ノ終リ次第、司法省カラ吏員ヲ四方ニ派出シテ特ニ御調ベヲ願フ、サウ云フト迄ノ希望ヲ以チマシテ、ヤマトノコトデ裁判所ノ廢止ガ行ハレタ、斯ウ云フ次第デアリマシタガ、ソレガ段々氣運ガ熟シテ既ニ二回モ復活案ガ出、今度デ合セテ三度、又新設ノ所モ加ハリマシタ、之ガ大ニ諸地方ノ便利ヲ得マシテ、此裁判所ノ新設ト云フコトハ非常ニ地方人民ノ喜ビマスコトデ、誠ニ結構ナコトニ戻リマシタノデ大ニ喜ブ次第デゴザイマス、唯今日ノ問題デ此足利、足利郡ニ關シマスノガ之ガ一ノ議論ノ種デアリマスガ、若シ安蘇郡ト足利郡ヲ關係デ申シマスレバ足利郡ガ總テノコトガ多少進ンデ居ルト云フデモ大層ナ違ヒアリマセヌ、或ハ足利ノ方ニ新設ト云フコトハチト安蘇郡ノ人民ニ對シテ氣ノ毒ナ感ジモアル、或ハ安蘇郡ノ佐野ニ其儘アッテモ大シタ差支ハアルマイ、斯ウ思ハレマスガ、足尾ト云フ所ハ宇都宮區裁判所ノ方ニ屬シテ居リマシテ、アレガ誠ニ交通ノ惡イ所デ、ソレガ足尾鐵道ガ出来マシタ爲ニ足利方面ニ大キニ出易クナッテ、總テ都會ニ出テ来ル時ハアノ鐵道ニ據ルト云フ今日ハ世ノ中ニナッテ参リマシタ、サウシテ見マスルト、佐野、足利、足尾ノ三ツヲ擲ンデ見マスルト先ヅ足利ガ中心ニ居ルト云フ有様デアル、僅デハアリマスゲレドモ總テノコトガ佐野ヨリハ進ンデ居ルト云フ點モアリマスシ、今日サウ云フ風ニ管轄區域ガ變テ新規ニ置カレルトナッテ見マスルト、先ヅ足利ニ置カレル政府案ノ方カ至當カト思ハレマスノデ私ハ其方ニ贊成イタシマス、詰リ此三案ヲ擲メマシテ私ハ贊成ノ意ヲ表シマス

ノ御説明ヲ承ハリマスガ、成ルホド一ッ所ニ物ヲ置イテ、ソレガ各方面カラ満足スルコトハ出来ナイコトハ勿論ノコトデアリマシテ、唯比較的苦情ノ全般ヲ通ジテ少ナイ所ヲ選定サレルト云フコトハ適當ノコトデアラウト思ヒマス、ソコデ此安蘇、足利ノ村民等ノ心情等ヲ見マシテモ、足利町ニ置カレルト云フコトハ安蘇郡ノ一部ノ人民ニ取テノ苦痛ハ、佐野町ニ復活サレテ足利郡ノ一部ノ人民ガ不便ヲ感ズルヨリモ餘計ニ感ズルヤウニ私ハ判斷ヲ致シマス、又足尾町ガ加ハタコトヲ足利町ニ設置スルノ理由ニ御述ベニナリマスガ、成ルホド是ハ先ホドモ御話ノ通り、中心ト云フカラテモ何モ幾何學的ノ中心ト云フ意味デナクシテ、此三者ノ中デノ中心ト云フノハ是ハ常識上ノ判斷カラ勿論ノコトデアリマスガ、片寄リ方ハ僅ニ二十分バカリノ關係デアリマシテ、足尾町カラ事件ヲ持ッテ来ルニハ足利町ヲ通り越シテ僅ニ二十分足ラズ先キニ行キサヘスレバ、事ガ辨ジルノデアリマスカラ、詰リ交通上ノ關係ニ於テモ、足尾町ガソレニ這入タト云フコトガ、必ズシモ足利町ヲ選定サレルト云フコトノ理由トシテハドウモ薄弱ノヤウニ私ハ考ヘマス、其外尙ホ考慮ニ數フベキコトハ今迄……今迄デアリマセヌ、以前佐野町ニアッテモノガ、ソレガ今度足利町ニ變ル、二十年來モ依然トシテ佐野町ニアッテモノデ、又此大正六年迄ハ兩村民互ニ同一ノ請願ヲ以テ復活ヲ願出タモノガ、急ニ大正六年ノ暮カラ足利町ガ分離シテ、サウシテ斯ヤウナコトヲ請願スルト云フコトハ、佐野ノ人民ニ取テ如何ニ心外ニ思フコト云フコトノ事情ヲ察セラレルノデアリマス、此ノ爲ニハ商取引モ廢メルトカ、或ハ銀行ノ預金ヲ云ミスルトカ、或ハ又激昂シテ動クトキハ兩村民ノ間ニ如何ナルコトガ出来ルカ知レヌト云フコトニナル、我東北ニ於ケル殖産興業ノ中心地ニ斯様な面白カラヌコトノ起ラントスルノハ、是亦誰人モ望マシタナイコトデアラウト存ジマス、斯様ニ色ミナ點ヲ考慮イタシマス時ハ、單純ニ佐野町ニ復活サレズシテ、殊ニ足利町ニ新設サレルト云フコトノ案ニ對シテハ、私ハ此處ニ在ルトニ同意スルコトヲ躊躇イタシマス

決イタシマス、此三案ヲ一括イタシマシテ議題ト致シマス、此三案ニ御贊成ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス
起立者 多數
○委員長(伯爵堀田正恒君) 大多數ト認メマス、依ッテ此三案ハ原案通り可決イタシタモノト認メマス、是デ今日ハ散會ト致シマス
午後二時三十一分散會
出席者左ノ如シ
委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 加太 邦憲君
委員 子爵勘解由小路資承君
子爵板倉 勝憲君
男爵中川 興長君
男爵坂本 俊篤君
男爵若王子 文健君
野々村久次郎君

政府委員

司法次官 鈴木 喜三郎君
司法省法務局長 豐島 直通君
司法省參事官 山内 確三郎君
司法省參事官 飯島 喬平君

○男爵坂本俊篤君 私ハ決ヲ採ラレマス前ニ一言意見ヲ申述ベマス、段々政府委員ノ御説明ニ依リマシテ事情ヲ詳細ニ知ルト得マシタカラ、私ハ單純ニ佐野町ニ復活セラレ、コトデナクシテ、殊ニ足利町ニ新設セラレルト云フコトニ付テ其理由ヲ發見スルニ躊躇イタシマス、段々政府委員

○委員長(伯爵堀田正恒君) 唯今坂本君ノ修正ノ御意見デアリマスガ、之ニ御贊成ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス
起立者 無シ
○委員長(伯爵堀田正恒君) 御贊成ノ方ハ無イヤウニ思ヒマス、外ニ御議論ハアリマセヌカ……御議論ガナケレバ採

大正八年二月二十一日印刷

大正八年二月二十二日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局